

【事業実績】

京都文化の他地域への発信プロジェクト「スポーツ」の視点から

◇「京都・大学ミュージアム連携 online 出開帳「スポーツと京都」

公開期間：2021年2月25日～3月25日

公開場所：京都・大学ミュージアム連携 HP <https://univ-museum-kyoto.com/event14/event-210225/>

◇京都・大学ミュージアム連携シンポジウム

「コロナ時代の連携—京都・大学ミュージアム連携の10年とその後」

開催日時：2020年12月20日

配信期間：2021年1月9日～2月14日

公開場所：京都・大学ミュージアム連携 HP および Youtube チャンネル

<https://univ-museum-kyoto.com/event14/event-210109/>

京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

京都・大学ミュージアム連携とは お問い合わせ

京都・大学ミュージアム連携シンポジウム

コロナ時代の連携
—京都・大学ミュージアム連携の10年とその後—

オンライン配信 録画配信期間 2021年1月9日(土)～2月14日(日)

※このイベントは終了いたしました。

京都・大学ミュージアム連携シンポジウム
「コロナ時代の連携—京都・大学ミュージアム連携の10年とその後」

京都・大学ミュージアム連携は、2011年に結成して、今年で10年目の節目を迎えました。この節目の年がCOVID-19流行の年にあたり、当初予定していた活動ができなかったことは大変残念なことですが、むしろ、今年度はコロナ時代における連携のあり方という、まったく予想していなかった試練を考える機会になりました。

京都・大学ミュージアム連携はこれまで地域住民との「密な」関係を構築すべく、スタンプラリーや講座の開催など地道な活動を続けてきました。さらに合同展覧会というかたちで、九州・東北・沖縄そして台湾の方々に大変なお世話になりながら、「密な」活動を展開してきました。その活動は、それぞれの館やスタッフにとって、それなりの刺激であったと思います。各館が学内で置かれていた位置や期待されている機能の相違、体制や待遇の相違などを知ることができたことも貴重でした。いま、わたしたちは、10年目を機にあらたな連携のかたちを模索すべく、シンポジウムを開催することとしました。事務局体制もかわり、2021年からは、新しい京都・大学ミュージアム連携ははじまることとなります。

今回のシンポジウムでは、これまでの活動を反省しつつ振り返り、これからの、とくに「with コロナ」の時代において大学ミュージアムはどうあるべきかを考えてみたいと思

事務局からのお知らせ

- 2018年12月15日
立命館好博展「UNIVERSITAS 京都・大学ミュージアム連携出版録 in 台湾」
- 2018年12月9日
第7回京都・大学ミュージアム連携スタンプラリーへのご参加ありがとうございました！
- 2018年9月30日
9/30開催シンポジウム中止のお知らせ

加盟館の収蔵品から

中野明子、フスゲン、伊藤ワカ、カトシズを展覧資料館館長、所蔵：大谷大学総合学芸部文化員部

開催中・これからの連携イベント

京都・大学ミュージアム連携 in 台湾 出版録

スポーツと京都

連携10周年

コロナ時代の連携
—京都・大学ミュージアム連携の10年とその後—

2020年12月20日

2019年 ICOM 京都大会

The Museum Jobs

京都

京都14大学ミュージアムが繋がる！

合同展示から作り出した展示モデル
～京都・大学ミュージアム連携の10年を振り返って～

立命館大学国際平和ミュージアム 兼清順子

2018「京都好博展1」UNIVERSITAS 京都・大学ミュージアム連携出版録 in 台湾 ギャラリートーク

●筑波大学アート・ストリートの展開
学外への展開＝大学間の連携事業

京都・大学ミュージアム連携 との共催事業
特別展「京都とスポーツ」
2020年＝オリンピック・イヤー
筑波大学＝体育の研究・教育組織あり
独自にギャラリー保有/運営
筑波大学の展示施設＝小規模/複数